

県建築協会安全祈願祭等

明るい笑顔の年に

県建築協会(上山一吉)の護国神社で19年安全祈願祭は10日、鹿児島市一願祭ならびに第30回安全



各種表彰が行われた安全大会
＝鹿児島市の護国神社で

大会を開き、協会員をはじめ、各建築専門業団体代表や行政関係者ら約100人が出席して、今年1年の無事故無災害を誓った。

物故者への黙とう後、上山会長が「重大災害発生は企業にとって非常に大きなリスクを負うことになる。経営者が先頭に立ち危機意識を持って安全管理面などに取り組んでいかなければならない。三大災害の撲滅に向けた取り組みを積極的に推進し、明るく笑顔の1年になるように努力してほしい」となどと挨拶。

また、安全祈願祭では各代表が神前に玉ぐしを捧げて、無事故無災害と

功労賞(宇都宮組) 梅木一宏(斉藤建設)▽功績賞(大園建設)▽功績賞(山宗敏(株)今給黎建設) 山下義明(株)富士建設 原水勝巳(同)牧之瀬秀秋(川畑建設) 森迫重弘(米盛建設) 鳥越確(株)植村組 吉松重行(山佐産業) 吉田稔(株)

県タイル工業協組安全祈願祭等

労災撲滅、さらなる発展を

県タイル工業協同組合(小玉利英理事長)は10日、鹿児島市の松原神社で19年安全祈願祭を開いた。出席した組合員は、向こう1年の無事故無災害とさらなる繁栄を祈願した。

神事では、関係者が神

前に玉ぐしを捧げるなど、組合員各社の安全と繁栄を祈願。出席者は、終始引き締まった表情で、労災撲滅へ決意を新たにしていた。

場所を移して行われた労働災害防止大会では、組合員のほか、来賓で建築防具支部の前屋敷俊光氏、鮫島純男鹿児島高等技術専門学校長らも出席。小玉理事長が、「業界は、下請け単価の問題など依然厳しい状況が続いており、今後さまざまな改革にも対応していかなければならない。今こそ、安全の重要性を再認識し、この難局を乗り越えていく」とと挨拶した。大会宣言では、北園政三理事(北園タイル)が「労災の現状を厳しく受け止め、決意新たに労災撲滅を目指します」と力強く宣誓した。

このあと、小田正弘理事が乾杯の音頭を取り祝宴に入り、会員らは酒を酌み交わしながら、明るい年となることを祈念した。

建災防管工事分会等災防大会

労災防止を再認識

建設業労働災害防止協会県支部管工事分会(青木英一郎分会長)、県管工事業協会(同会長)、鹿児島市管工事協同組合(同理事長)は10日、鹿



企業経営と一体の安全管理体制を――と挨拶する青木分会長＝鹿児島市の鹿児島管工事会館で

児島市の鹿児島管工事会館で安全祈願祭ならびに第30回労働災害防止大会を開き、会員や行政関係者ら約150人が出席して、今年1年の無事故無災害を誓い合った。

災防大会では初めに、建災防県支部長ならびに管工事分会長表彰が行われた後、大会実行委員長青木分会長が「公共事業の減少に伴い価格競争が激化するなど経営環境は依然厳しい状況が続いている。しかし、このような時こそ企業経営と一体となった安全管理体制を図ることが大切。トップ自らが労働災害防止の重要性を再認識するとともに、未然防止に向けた

長(代読・勝田清人産業安全専門官)、園田太計夫鹿児島市水道局長がそれぞれの立場から祝辞を寄せた。最後に、下田平洋一大会実行副委員長が「健康で安心して働ける、また災害のない快適な職場環境づくりを目指します」と大会宣言を行った。

なお、大会終了後は、建設業労働災害防止協会県支部の関秀正指導員を講師に招き、「建設業労働安全衛生マネジメントシステムについて」の講演も開かれた。

分会長表彰は次の通り。

事業場賞(株)徳田設備工業▽職長賞(外園和(旭工業) 長濱浩二(南池山建設) 中島義和(有皆越組) 伊東靖紀(株)並松工業) 並口勇孝(株)薩南工業)



記念写真に納まる組合員＝鹿児島市の松原神社で

青色パトロール車出発式

地域の安心・安全を



県建設業協会宮之城支部(白川田廣八支部長、会員数・38社)が自主的に発足したパトロール隊(同隊長)の青色パトロール車出発式が10日、さつま町の

宮之城建設会館であった。協会支部では初となる青パト車7台は定時にさつま町や薩摩川内市入来・祁答院町内

と挨拶。次いで、増田県建設業組合理事長が「限られたマーケットで争奪戦をしては、みな疲弊してしまう。日本の伝統文化を守るため今後も地道に量のPR活動を続け、需用の拡大につなげていく」と呼び掛けた。

は初めに榎園澄夫さつま警察署長が白川田隊長に防犯活動要請状を交付。続いて榎園署長が「常日ごろからの防犯活動や事故防止活動減衰に感謝する。今回、青色回転灯車両によるパトロールを大変心強く思っている。このあと、白川田隊長の号令の下、隊員が車両に乗り込みエンジンを開始。7台の青パト車両は、協会員やさつま警察署員らの拍手に見送られてパトロールに出発した。

これを受けて白川田隊長は「さつま町(QOS)SOS活動からさらに進んで、地域の安心・安全の確保のために一翼を担えたらと考えている。運用規則を順守して活動していきたい。また、青パト車による防犯活動が地域全体へ広がることを祈念する」と決意を述べた。

県豊工業組合鹿児島支部新年会

一致団結し需要拡大を



ある。厳しい年となることとが予想されるが、一致団結して頑張っていく」と

引き続き、来賓の保岡興治衆議、増賀貞朗県議、赤崎正剛鹿児島市議がそれぞれの立場から祝辞を寄せた。

明るい年となることを祈念した新年会＝鹿児島市のホテルニューカブシマで